

第 25 期第 4 回運営委員会報告

日時：2009 年 9 月 27 日 17:50～20:35

場所：金沢大学角間キャンパス自然科学本館ワークショップ 1（秋学会休憩室）

出席 17 名（定足数 11 名）：津田敏隆会長、家森俊彦副会長

阿部琢美、石井守、河野英昭、木戸ゆかり、齋藤昭則、坂野井和代、
塩川和夫、篠原育、清水久芳、堤雅基、長妻努、畠山唯達、村田功、
山本衛、吉川一朗

欠席 1 名：小田啓邦

1. 前回（第 25 期第 3 回運営委員会）議事録の確認

- ・確認の後、承認された。

2. 協賛・共催関係

- ・以下 1 件の協賛（Cosponsor）を承認した。
- ・ AGU Western Pacific Geophysical Meeting（山本）

開催日：2010 年 6 月 22 日～25 日

場所：台北

*協賛には金銭的な負担はなし。日本での宣伝活動を担当。尚、program committee として、河野委員を選出。

3. 入退会審査（清水）

- （1）4 名の入会を承認した。

正会員（一般）：須賀秀一（東芝・社会システム社、紹介会員：木村磐根・津田敏隆）、
横山信博（紹介会員：小原隆博・越石英樹）

正会員（学生）：松村充（京都大学、家森俊彦・齋藤昭則）、小林慧（京都大学、浅見智子・
藤井頌子）

- （2）1 名の退会を承認した。

退会者：横山央明

・入会申請ホームページで、本学会の目的等の情報に容易にアクセスできるような工夫が必要であるという提案があり、ホームページにリンクをはる等の改良をすることとした。

4. 会計関係

4. 1. 平成 20 年度決算報告について（阿部）

- ・決算資料に添って報告された。前回運営委員会以降、EPS 関連特別会計の決算額を追加した。

- ・本決算案を確認し、承認した。

4. 2. 平成 22 年度予算案について（阿部）

- ・平成 22 年度予算案が提案された。詳細について、平成 20 年から 3 年分の予算案を参照しながら説明された。議論の後、予算案は承認された。詳細は以下の通り。

- ・収入・支出とも、前年度の予算を踏襲した。

- ・管理費のうち、印刷費は、会費収入とのバランスをとるために、少なめに計上した。

- ・事業費のうち、秋学会投稿システムは、来年度に大幅に変更されるが、使用料金の増減が不明であるため、昨年度実績に基づいて計上した。

- ・平成 22 年度は役員選挙と名簿作成が予定されており、関係予算が計上された。

- ・アウトリーチ予算について、平成 22 年度の成果公開科研費が得られない場合に、アウトリーチイベントを如何に開催するかを議論した。アウトリーチ部会において、イベント開催方式と対応を議論する。

5. 助成関係

5. 1. 国際学術交流事業の審査（吉川）

- ・応募なし。

5. 2. 東レ科学技術賞・科学技術助成推薦（山本）

- ・これまでに会員に受賞者、助成研究の推薦について周知したことが報告された。

- ・東レ科学技術賞に、上出洋介会員を推薦することとした。

- ・東レ科学技術助成に、齋藤昭則会員の申請を推薦することとした。

6. 秋学会関係（篠原・山本）

6. 1. 来年度の秋学会開催場所について（石井）

- ・来年度開催地の学会開催会場案が提示された。

- ・来年秋学会は NICT 主催、開催地沖縄で承認。詳細については今後報告される。

- ・旅行計画作成のため、コマ割、プログラム作成を早くする必要あると指摘された。

6. 2. 来年度の秋学会投稿システムについて（山本）

- ・秋学会投稿システム使用に関して、JpGU との連絡状況が報告された。

- ・JpGU 理事の古村氏（地震研）と、10 月 13 日に打ち合わせ予定。システム所有者の JCOM も打ち合わせに参加する可能性あり。

- ・使用料金はこれまでと同様になることを期待している。また、他学会のシステム利用によ

る各学会の負担が減ることも期待している。

7. アウトリーチ活動について（長妻・畠山）

・9月26日に、記者発表会とアウトリーチイベントが金沢歌劇座で開催されたことが報告された。来場者は104名。

・記者発表について、北国新聞、北陸中日新聞が記事を掲載。9月28日の「かぐや」特別セッションにTVカメラ（MRO）が入る予定。

・今回のアウトリーチイベントでは、泉丘高校の生徒の協力を得た。高校、生徒への学会からの感謝状を贈るという提案があり、賛同がえられた。

・科研費でポストファクトリポートを作成することが報告された。また、改善点については、アウトリーチ部会で取りまとめ、運営委員会他に報告する。

・アウトリーチ活動に協力した大学院生、ポスドクへの対応として、就職に有利になるような取り計らいをしたいという提案があった。これに対して、会報に協力者の名前を記載する等、学会関係資料に記録を残してはどうかという提案があった。本件について、議論を継続する。

・来年度もアウトリーチイベントを開催予定。テーマ、科研申請、開催様式、広報活動について、アウトリーチ部会で検討。特定の中学、高校等を訪問し、イベントを開催することも検討する。

・アウトリーチについて、学生（若手会有志）が企画から参加したいという意見あることが報告された。アウトリーチ部会で活動方針について議論をし、問題点等を検討の後、運営委員会に提示する。

8. 男女共同参画関係について（木戸）

・本秋学会において、保育室・託児室を設けた。申し込まなくても休める部屋を含めて、2部屋を準備した。使用料金は250円/30分、不足分は学会で負担。本年は35000円程度を負担予定。

・学協会連絡会から、科学技術基本計画に対して提言をするという提案があったが、資料を検討の結果、本学会としては提言の参加について態度を保留することとした。次回連絡会が10月1日に開催されるので、連絡会において対応を決める。

・第7回シンポジウムを10月7日に東工大で開催。テーマは「持続可能社会と男女共同参画」。

9. Web・メーリングリスト関係（堤）

・学会賞の受賞者と選考委員の情報更新時期を確認した。

・学会賞選考委員については、年度ではなく、期で記載することとした。

・英語ページの情報を早急に更新する必要があると指摘された。

1 0. 学会創立 60 周年特別事業関係（石井・山本）

- ・ 60 周年記念誌のサンプルが提示された。9 章建て。200 ページで見積もりをとっていたが、350 ページになった。売価は 5,000 円。作成見積もり額は、771,750 円/100 冊。
- ・ 単価 5,000 円にするための印刷冊数を調査することとした。余剰分については、大学、研究所等機関での購入を促す。
- ・ 本学会中に個人購入を受け付ける。

1 1. EPS 関係報告（斎藤・津田）

1 1. 1. 交換会報告（斎藤）

- ・ JpGU と EPS を運営する 5 学会会長の意見交換会が 8 月 17 日に開かれ、その議事録を元に、議論内容が報告された。
- ・ 連合は独自に電子版のレター誌、レビュー誌を出版することを検討中である。
- ・ 連合から、EPS と連合との連携を示すため、連合のロゴを EPS に掲載したいという要望があった。
- ・ EPS 参加学会から、連合の学会誌について、連合自体がより詳細な将来的な見通し、計画を持つべきであるという意見があった。

1 1. 2. JpGU と EPS 誌の関係について（津田）

- ・ 連合には 5 学術セッションがあり、EPS は宇宙惑星、固体地球に関係している。
- ・ EPS と JpGU の関係について、議論を継続する。また、現状について総会で報告することとした。
- ・ EPS の分担金については将来的に検討が必要。

1 2. 総会関係（津田・山本）

- ・ 討議事項を確認し、役割分担をした。

1 3. 次回運営委員会

- ・ 2 月後半に開催予定。日程詳細と場所は今後調整。

（清水久芳）